

710号



〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2 日港  
 福会館 5階  
 Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622  
 メール [roren@kensu.jp](mailto:roren@kensu.jp)  
 ホームページ <http://www.kensu.jp/>  
 全国検数労働組合連合  
 書記局



**第5回 検数労連22夏季一時金交渉15:00~16:00**  
**日検協会：有額回答提示。全国平均464,402円**  
**全日検：これ以上の修正回答は困難である。**  
**組合は次回交渉までに修正回答と諸要求に対する回答を求める。**



《日検協会22夏季一時金有額回答》

- 支給額  
 (1) 職員・雇員  
 (本給+家族手当) × 乗率+都市加算+α  
 (202, 338円+9, 863円) × 2. 00ヶ月+40, 000円+α  
 全国平均464, 402円+α  
 (2) 試用期間中の職員  
 {(本給+家族手当) × 乗率+都市加算+α} × 0.8 × 在籍日数 / 180日
- 支給日 2022年 7月 8日
- 支給対象者 2022年7月8日現在、在籍の職員、雇員
- 計算期間 2021年12月1日より2022年5月31日までとする。
- その他の取扱いは、従来通りとする。

以上

【日検協会】

前回の交渉では労組指定の有額回答指定日であったが、回答の構築が間に合わなかったこと

【第5回一時金交渉】

6月27日(月)第5回検数労連22夏季一時金交渉で、組合は日検協会に対しては有額回答の提示、全日検に対しては修正回答の提示を求め交渉を行い、日検協会から左記の通り有額回答が提示されました。

今回の交渉以降、労組主張を受け持ち帰りの検討したが、これまでも繰り返し説明してきたとおり、ロシアのウクライナ侵攻や半導体不足などの影響もあり先行きは不透明な状況になっている中で、前回交渉で提示した有額回答が最大限努力した回答である。よって、労組には現回答をもって判断してほしい。

今夏季賞与の回答にあたっては、ロシアのウクライナ侵攻やコロナ感染拡大の影響による上海のロックダウン、アメリカの金利引き上げなどの外部的要因や、国内でも急激な物価上昇や半導体不足による完成自動車などの輸出の鈍化などの影響を受け、直近4月・5月の収益が悪

【日検協会に対して】  
 金額的には単純比較で昨夏比プラス回答となっており一定評価できる。  
 都市加算については労組要求に応じた回答となっており一定評価できる。  
 一律については回答算式に入っておらず不満である。  
 アルファ回答(業績加算)については反対である。  
 同時に長年にわたる反対表明

【組合主張】  
 組合は日検協会の有額回答、全日検の検討結果を受け、休憩をはさみ現時点での到達点を分析し、次の通り主張しました。

【全日検】  
 前回の交渉以降、労組主張を受け持ち帰りの検討したが、これまでも繰り返し説明してきたとおり、ロシアのウクライナ侵攻や半導体不足などの影響もあり先行きは不透明な状況になっている中で、前回交渉で提示した有額回答が最大限努力した回答である。よって、労組には現回答をもって判断してほしい。

【全日検】  
 前回の交渉以降、労組主張を受け持ち帰りの検討したが、これまでも繰り返し説明してきたとおり、ロシアのウクライナ侵攻や半導体不足などの影響もあり先行きは不透明な状況になっている中で、前回交渉で提示した有額回答が最大限努力した回答である。よって、労組には現回答をもって判断してほしい。

**次回交渉 6月28日(火)14:00~**  
**第6回検数労連22夏季一時金交渉**  
**2日間続けての交渉で、修正回答と諸要求**  
**の回答を求めていきます。**

【全日検に対して】  
 修正回答が示されず残念である。次回交渉では諸要求の回答を求める。

【組合主張】  
 組合は日検協会の有額回答、全日検の検討結果を受け、休憩をはさみ現時点での到達点を分析し、次の通り主張しました。

【全日検】  
 前回の交渉以降、労組主張を受け持ち帰りの検討したが、これまでも繰り返し説明してきたとおり、ロシアのウクライナ侵攻や半導体不足などの影響もあり先行きは不透明な状況になっている中で、前回交渉で提示した有額回答が最大限努力した回答である。よって、労組には現回答をもって判断してほしい。

【全日検】  
 前回の交渉以降、労組主張を受け持ち帰りの検討したが、これまでも繰り返し説明してきたとおり、ロシアのウクライナ侵攻や半導体不足などの影響もあり先行きは不透明な状況になっている中で、前回交渉で提示した有額回答が最大限努力した回答である。よって、労組には現回答をもって判断してほしい。